（様式第3号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	□	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	障がい者雇用を通して、いつ自分の周りの人間或いは自分自身が障がいを持つか分からない時代である事を事有る毎に伝え、日常生活に障がい者が居る環境に慣れて貰う。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		□	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	パワハラ防止の為に、年齢に関係なく、「〇〇さん」と「さん」呼びを推進し、皆が同等の仲間としての意識付けを徹底している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		□	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	現場取付作業を効率化する為に事前に極力工場加工を行い、現場作業時間の減少に取り組んでいる。また、特定の社員に残業が偏り過ぎない為に、残業は届け出制とし、状況により他の社員の応援体制を取って平準化を図っている。								8.5 8.8									
4		☑	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	現在外国人労働者を雇用していないため				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		□	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	過去に労災の有った機械について、リスクアセスメント勉強会を定期的に開催している。また、朝礼にてゼネコンより提供される事故事例をほぼ毎日読み合わせ、危険への感性を高め合っている。			3					8									
6		□	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽの相談窓口機関や各保険会社から提供された健康情報を全社員にﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸしている。ｱｸｻ生命保険㈱によるﾒﾝﾀﾙｻﾎﾟｰﾄを社員全員が享受できる様に契約しており、更に年2回の全社員との面談により、社員の不調、意見の吸上げも行っている。			3														
7		□	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	障がい者雇用を推進し、その方の特性を把握、社員全員で共有し、生き生きと働いて貰っている。また、定年を過ぎた社員には退職時期を自己申告で延長勤務して頂いている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	外部(労働基準協会･商工会議所･ポリテクセンター･八十二経済研究所等主催)研修の内容を紹介し、社員が自ら選択希望して受講して貰っている。受講した社員は全体会議において、他の社員にフィードバックしている。				4	5.5			8	9								
9		□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	全社員が正社員である為、同一労働同一賃金に近い状況である。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		□	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	健康経営優良法人2023に認定された。アクサ生命保険㈱と社員全員のガン保険を継続し、アクサ生命が提供する食事･栄養管理支援、運動機会増進、睡眠改善アドバイスを全社で継続。更に社員の有給休暇取得率向上に			3					8									
11	環境	□	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄物については、マニフェストに従って適切に処理している。廃棄物種目毎に年間排出総量を把握し、年間推移を観て削減に取り組んでいる。											11.6	12.4		14.1			
12		□	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	使用電力量、ガソリン･灯油使用料を月毎に把握し、月別推移表、前年同月との推移表を作成して社員にも一目瞭然にしている。また、CO2の排出量にも変換して表示している。							7.3						13				
13		□	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	水銀ランプ－＞LEDランプ、蛍光灯－＞LED灯に交換し、使用電力の削減に取り組んでいる。工場屋根にソーラーパネル敷設して再生エネルギーの使用を計画中である。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		□	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	塗装スペースの換気設備の更新(換気容量アップ)を行い、より安全な環境構築に取り組んでいる。化学塗料から身体に無害な自然系塗料･水性塗料の比率を上げて来ている。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15		□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	輸入木材においても、極力森林認証済みの伐採数量が管理された材料を使用するようにしている。自社の焼却炉はダイオキシン対応の物であるが、極力焼却処理せずに分別リサイクルに取り組んでいる。						6.6									15		
16		□	【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	発生する木屑、プラスチックごみ、段ボール･紙ごみについて、リサイクル分別を徹底しているほか、社内の社員横断の「地域貢献」チーム主導によりペットボトルキャップの収集リサイクルにも取り組んでいる。												12.5		14.1			
17		□	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	節水型便器を使用している。 【予定】使用上水量、下水量を月毎に把握し、月別推移表、前年同月との推移表を作成して社員にも一目瞭然にする。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18		□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	化学塗料の削減に恒常的に取り組む。油性塗料から水性塗料へのシフトも進めている。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		☑	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	多国籍企業でも上場企業でもないため。												12.6					
20		□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】工場屋根にソーラーパネルを敷設し、再生可能エネルギーを少しでも活用する。小型バイオマス発電も検討中である。							7.2						13				
21		□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	パートナー企業と共に森林認証（FSCとSGEC）のCOC認証を取得している。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	社員に常に（外部に）公正である事が企業永続の原点である事を伝え続けている。特に社会的に汚職ニュースが報道された時に機を待たずして公正さの大切さを訴えている。																16 16.5	
23		□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正な受注は、ひいては自社の首を絞める事を伝え、同業他社でそのような行為をする事があっても、絶対に追従してはいけない事を周知している。																16	
24		□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	パートナー企業の特許パーツ、図面等の管理を徹底している。								8.2 8.3	9								
25		□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	お客様の個人情報等の漏洩防止に努めている。漏洩による信用失墜が企業の存続に関わる事を周知している。																16	
26		☑	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	鉱物の使用をしていない為。																16	
27		□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	外注協力企業、材料納品企業をお招きした懇親バーベキュー大会にて、弊社の考えをお伝えしている。（倫理・人としての大切さ、子ども達に誇れる仕事振りなど）					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	使用する方に合わせて、安全度の高い家具・建具等の提案、製作を行っている。（角部の曲面化や、緩衝ゴムの貼付けなど）特に幼児・子どもが利用する製品については密に確認、提案を行っている。			3.9									12.4					
29		□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	お客様からのクレーム等を社内で共有し、製品の品質向上や対応の改善に努めている。									9								
30		□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	パートナー企業と共に森林認証（FSCとSGEC）の木材を使用するように努めている。						6						12	13	14	15		
31		□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	パートナー企業と共に木・アルミ複合サッシで断熱性の高いサッシシステムを（開発）生産している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域の小学校、中学校の就業体験受入れを行っている。地元区長会役員の方に工場見学会を開催している。また、須坂商工会議所主催の「まちゼミ」にて市民の体験授業の受入れも行っている。				4					9		11	12		14	15		17
33		□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・地元養護学校生徒のインターン受入れ。 ・地元養護学校等に授業で使う木端材の提供。 ・会社周辺道路のゴミ拾い活動。 ・積雪時の会社周辺通学路の除雪活動				4							11			14	15		17
34		□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	公共物件中心であるが、地元木材を利用している。 【予定】地元杉材、カラマツ材の利用比率を上げていく。								8	9		11	12	13				
35	組織体制	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	社是(経営理念)を毎朝朝礼時に復唱し、共有している。日常の出来事やトラブルを題材に社是(経営理念)の観点からどのように考え、行動すべきか周知している。								8	9								17
36		□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	車両運転時、交通事故の当事者となった場合には必ず警察に届け出る事、交通事故を目撃した場合でも率先して救護措置を行う様に指導している。飲酒運転は自分自身も会社自体も窮地に追い込む事を伝え続けている。																16	
37		□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	縦割り組織だけでなく、社員横断チーム(「環境整備･装備」、「地域貢献」、「社員親睦」の3チーム)を作っており、いざという時にプロジェクトチームを立ち上げ、話し合える環境にある。																16	
38		□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	外注協力企業、材料納品企業をお招きした懇親バーベキュー大会にて、弊社の考えをお伝えしている。（同じ仲間として、同じベクトルを向いて地域に貢献していくという考え）																16	17
39		□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	会社内、工場内機械、取付現場でのリスクの洗い出し、評価を行っている。特に工場機械については、そのリスクを掲示して誰もがそのリスクを認識できる様にしている。また、現場においては現場朝礼時にRAKYを行い、作業員全員でリスクを共有している。																16	
40		□	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	地域を担う未来ある子ども達に対して、商工会議所青年部主催の起業体験プログラム(ジュニアエコノミーカレッジ)への協力、地元中学校での出前授業に講師派遣、工場隣の高甫小学校の学舎連携クラブへの協力等、次世代教育を積極的に行っている																16	
41		□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	災害時の非常食、飲料水の備蓄を行っている。また、災害時の社員の連絡網を設けている。 【予定】BCPの策定と社内での共有を図る。									9		11		13 13.1			16	
42		□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	後継者候補を選定中である。承継し易い様に財務内容を少しづつ開示して来ている。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社員一人一人が年間ＳＤＧｓ取組目標を立て(目標シートに記入）、毎月その取組状況を振り返っている。(目標シート内の各月取組欄に記入)	毎月の取組状況を発表し合っている。また、目標シートを貼出して、全社員の取組状況を一目で見られるようにしている。																	

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）